

**平成29年度第3回東京都地方独立行政法人評価委員会
高齢者医療・研究分科会議事録**

- 日時 平成29年7月27日（木曜日）午後3時から午後3時20分
- 場所 都庁第二本庁舎 31階 特別会議室23
- 出席者 矢崎分科会長、藍委員、猪口委員、大橋委員、永山委員
- 審議事項
 1. 平成28年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター業務実績評価の決定について
 2. 平成28年度地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター財務諸表に関する意見の聴取
- その他
今後のスケジュール

○**高齢社会対策部施設計画担当課長** それでは、定刻になりましたので、ただいまから平成29年度第3回東京都地方独立行政法人評価委員会高齢者医療・研究分科会を開催させていただきます。

本日は大変お忙しい中、ご出席いただきどうもありがとうございます。事務局を務めます施設計画担当課長の諸星でございます。議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

本日は先生方皆様ご出席いただいておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。また重ねて、本分科会については原則公開となっておりますので、あらかじめご了承願いたいと思います。また、後日議事録等については福祉保健局のホームページで公開させていただきますのでよろしくお願いします。

続きまして、本日お手元に配付しております資料のご確認をさせていただきます。資料1は、評価書の素案の修正案と分科会の意見についてまとめたものでございます。

資料2は、修正意見を反映した本文となっております。

資料3は、評定一覧表の（案）、資料4は財務諸表の概要です。

資料5は、財務諸表でございます。

資料6は、スケジュール案です。

では、ここからの議事進行については矢崎分科会長をお願いいたします。

○**矢崎分科会長** はい。わかりました。

お忙しいところ、先週に引き続いてお集まりいただきましてまことにありがとう

ございます。本日は、前回ご議論いただいた平成28年度業務実績評価書及び財務諸表に関する意見の決定をさせていただきたいと思っております。

それでは、審議事項1の業務実績評価の決定について事務局から説明をお願いします。

○高齡社会対策部施設計画担当課長 はい。7月18日の第2回分科会でご審議いただきました評価書の素案につきまして、分科会の委員の皆様からご意見を伺うとともに、法人に対して意見の照会を行ったところでございます。

分科会の委員からは、SからBまでの評定につきましては、素案通りでよいというご意見を頂戴しております。

なお、評定欄の記載につきまして頂戴したご意見を資料1にまとめておりますので、資料1からご説明をさせていただきます。

資料1の「業務実績評価（素案）の修正案と今後の取組に対する分科会意見」の1番に、素案の修正案ということで3項目ほど上げております。これらの項目については全てBという評価になっておりますので、文言を追記したものでございます。

まず項目番号6番の「地域連携の推進」について、地域連携の強化は必要だということで、修正案のとおり、「今後も、さらなる地域連携の強化に努めてほしい。」と追記いたしました。

続きまして、8番の項目「医療安全対策の徹底」につきましても、感染症対策だけでなく、転倒、転落事故防止の取組も必要だということで、修正案のとおり「意識向上を図るとともに、転倒・転落事故防止の取組をさらに進めるなど、医療安全対策の強化に努めてほしい。」とつけ加えております。

12番の「活気ある地域社会を支え、長寿を目指す研究」についても、研究推進については今後も必要だということで、「引き続き研究を進め、高齢者が安心して生活するための社会環境づくりに貢献してほしい。」という文言を追記しております。

資料1を1枚おめくりいただき、2番の「今後の取組等に関する分科会意見」をご覧ください。今回、委員の皆様方からご意見を頂戴して、評価書に盛り込むべきものとは別に、今後センターに取り組んでもらいたいこととしてまとめたものでございます。

まず「高齢者がん医療」につきまして、高齢者がん治療のモデルケースづくりを目指したらいかがかというご意見を頂戴しております。

2番目の「地域連携の推進」につきましては、ITを用いて在宅医療を行っている医師を中心にネットワークを築くことで、今後普及する高齢者を支える医療のモデル事業になるのではないかとのご意見をいただいております。

また「研究成果・知的財産の活用」ということで、「より積極的なプレスリリー

スなど広報活動を進めてほしい。」とご意見をいただきました。研究の成果をプレスリリースしておりますけれども、そういうところを含めてしっかりした広報活動を進めてほしいとのことでした。

「人材育成」につきましては、「医師の過労対策など働き方改革の道筋作りを目指してほしい。」ということで、ご意見として承りたいと考えているところがございます。

また、地方独立行政法人の特性を活かした業務の改善・効率化ということで、今回の事業実績の中でも職員提案の活用等がございましたけれども、より積極的な職員提案が出されるように、モチベーション向上や目標設定をしてほしいというご意見がありました。

「適切なセンター運営を行うための体制の強化」として、将来的には内部監査にも専属人材を配置して、第一線の業務運営を別の視点からチェックする機能の強化が好ましいという意見でございます。

「コスト管理の体制強化」につきましては、病院・研究所をあわせ持つという性格から、単純なコストカットということではなく、提供サービスの質への配慮や、在庫不足による医療提供への支障の回避等も含めたバランスのとれたコスト管理のさらなる高度化、充実を期待をするという意見です。

また全体を通して、病院・研究所で実施されていることは都民にとっても有意義なものであり、一般都民の方の認知度を向上できるよう、さらなる取組があってもよいのではないかとご意見を頂戴しております。

これらの意見につきましては、法人にも伝えさせていただきながら、引き続き検討していくことが必要だと考えております。

また評価案に対して、法人から意見はないということをご報告させていただきます。

業務実績評価に関する説明は以上でございます。

○矢崎分科会長 ありがとうございます。

ただいま事務局から、業務実績評価書の素案を委員の方々のご意見に従って一部修正し、分科会の意見は今後活かすということでまとめていただきました。

なお、ご意見ございましたらぜひよろしくお願ひします。

よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

○矢崎分科会長 それでは、これで評価書を決定させていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

それでは次の審議事項でございますが、平成28年度財務諸表等に関する意見の決定について事務局からよろしくお願ひします。

○高齢者社会対策部施設計画担当課長 財務諸表につきましても、先日の分科会にてご意見を頂戴しましたけれども、ご意見あるいはご質問のご提出はございませんでした。

以上でございます。

○矢崎分科会長 よろしいでしょうか。

それでは特にご意見がないということで、この財務諸表も最終決定とさせていただきます。

以上で審議を終わります。事務局からよろしく申し上げます。

○高齢者社会対策部施設計画担当課長 資料6の高齢者医療・研究分科会のスケジュールをご覧ください。

本日は、7月27日の第3回分科会となっております。今後、全体会としまして8月21日の月曜日午後2時から第一本庁舎42階の会議室で、首都大学東京の第二期中期目標期間業務実績評価に係る評価委員会が開催されますので、ご出席のほうよろしくお願ひしたいと思います。

また、9月になりますと評価委員会の評価結果について、知事へ報告します。その後、公表という段取りになります。あわせて第3回都議会定例会に中期目標につきまして提案するとともに、28年度業務実績報告については厚生委員会に報告します。

議会議決後、法人に中期目標の指示をします。その後中期計画の提出となります。11月の中旬ごろに、第4回の分科会を開催いたしまして法人から中期計画について意見聴取します。

年度末には、第5回分科会で、平成30年度の計画（案）を報告するという段取りになります。

以上でございます。

○矢崎分科会長 どうもありがとうございました。

それでは、本日の審議はこれで終了します。